

## 新公認審判員規定施行に関する準備と流れ

スポーツ界全体の流れにより資格制度の確立が急務となっています。文科省・スポーツ庁のもとハンドボール界では公認指導者（コーチ）が義務化になります。それに伴い競技・審判本部においても令和4（2023）年度より新公認審判規定が施行され、審判員・テクニカルオフィシャル・審判指導員が資格制度となります。審判指導者として活動をするものは公認審判指導者の資格を有する者となります。ここでは公認指導者の資格及び内容についてお知らせします。

### ◎ 概 要

#### 【資格の種類】6種類

##### （1）S級審判インストラクター

A級以下の（2）（3）（4）のインストラクター並びにすべてのインドアハンドボール審判員の指導、評価及び認定審査を務めることができる資格

##### （2）A級審判インストラクター

B級以下の（3）（4）のインストラクター並びにA級以下のインドアハンドボール審判員の指導、評価及び認定審査を務めることができる資格

##### （3）B級審判インストラクター

（4）並びにB級以下のインドアハンドボール審判員の指導、評価及び認定審査を務めることができる資格

##### （4）C級審判インストラクター

C級以下のインドアハンドボール審判員の指導、評価及び認定審査を務めることができる資格

##### （5）ビーチハンドボールS級審判インストラクター

（6）並びにすべてのビーチハンドボール審判員の指導、評価及び認定審査を務めることができる資格

##### （6）ビーチハンドボールA級審判インストラクター

A級以下のビーチハンドボール審判員の指導、評価及び認定審査を務めることができる資格

取得できる資格の種類については、審判資格保有級によって取得できる種類が決定する。

#### 【登録】

マイハンドにて登録

※ 移行期間 令和5（2023）年8月31日まで

※ 完全施行 令和5（2023）年9月 1日から

認定研修会実施予定9／1以降

### 【有効期間】

有効期間は毎年3月31日までとなり、必要とするものは毎年ごとに更新する。

### 【定年】

S級審判インストラクター及びビーチハンドボールS級審判インストラクターは満65歳。A級、B級、C級審判インストラクター及びビーチハンドボールA級審判インストラクターは満70歳とする。

### 【諸手続き】

申請書を提出の上、認定審査会を受講し認められる。**マイハンド利用**  
そして、登録料を納付する。

### 【登録料】

(1) S級審判インストラクター	10,000円
(2) A級審判インストラクター	7,500円
(3) B級審判インストラクター	5,000円
(4) C級審判インストラクター	3,000円
(5) ビーチハンドボールS級審判インストラクター	5,000円
(6) ビーチハンドボールA級審判インストラクター	3,000円

### 【運用の実際】

- ◆ **社会人選手権大会、全国小学生大会、全国高校総体、全国中学大会、全日本学生選手権大会、日本選手権大会男子の部**

**以上6大会については各連盟審判長にて審判指導者を選定する。**以上6大会においては実施計画書と終了報告書が必要となる。また、連盟審判長は派遣審判指導者によって作成された評価票をもとに審判員の所属ブロック長と所属都道府県審判長にフィードバックできるよう報告する。

- ◆ **上記以外の大会（各都道府県大会含む）では審判指導者は各大会審判長の判断にて招聘または依頼される。**

### 【指導の実際】

公認審判指導者は公式な全国各地の大会にて大会審判長に招聘または依頼された場合に指導を行うことができる。

**各ブロック・各都道府県において審判指導委員を置く**→ 審判指導委員の選定が必要となる。

**『レフェリー指導ハンドブック』に基づいて指導を行う。**

評価票を持参の上、活用し大会審判長に提出する。

### 【周知の方法】

**全国審判長会議にて説明 3/12（日）10:00～ Zoomにて**

※各大会においての審判長も公認審判指導者の資格を有していなければ大会  
審判員の指導はできません。何卒ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

有資格者による正しく、統一された指導によるレフェ  
リーの育成を目指しましょう！